



神戸大学人文学研究科日本文化社会インスティテュート キック・オフ・シンポジウム

New Steps in Japanese Studies



日本研究、日本の人文学のさらなる国際発展のために

人文学研究科日本文化社会インスティテュートの発足を記念し、新進気鋭の日本文化・社会研究者によるシンポジウムを開催いたします。今後の日本文化・社会研究、日本の人文学の課題とは何なのか、国内外の日本研究の最前線を確認しながら、考えていきます。

日時：2014年6月4日(水) 13:00~17:00

会場：瀧川学術交流会館



神戸大学人文学研究科・日本文化社会 インスティテュートとは？

◆神戸大学人文学研究科では日本研究、日本の人文学のさらなる国際的展開を図るため、日本文化社会インスティテュートを2014年4月に立ち上げました。

◆今後、神戸大学で行われる日本研究の国際的連携を担う機関として活動していきます。

◆連絡先：市澤哲(人文学研究科教授)

E-mail: t.ichizawa@gmail.com

開会挨拶 井上典之(神戸大学副学長・法学研究科教授)

報告

「Housewives as political agents of change in the 1950s and 1960s

: Direct democracy, mutual aid and the rise of civil society through anti-pollution movements in Kitakyushu, 1945-1970.」

Anna Kristina Schrade (神戸大学日欧連携教育府特命講師)

「現代日本の社会変動における排除的側面について」

大久保元正(神戸大学人文学研究科「頭脳循環プログラム」研究員)

「英語圏に於ける和辻研究の可能性」

Anton Luis Sevilla (アテネオ・デ・マニラ大学日本研究プログラム専任講師)

「天龍寺の造営に関する多角的検討—夢窓疎石の思想を中心に」

Molly Vallor (神戸大学人文学研究科特命助教)

「延喜式祝詞における口誦性について」

Laurence Mann (オックスフォード大学上代日本語コーパスプロジェクト研究員)